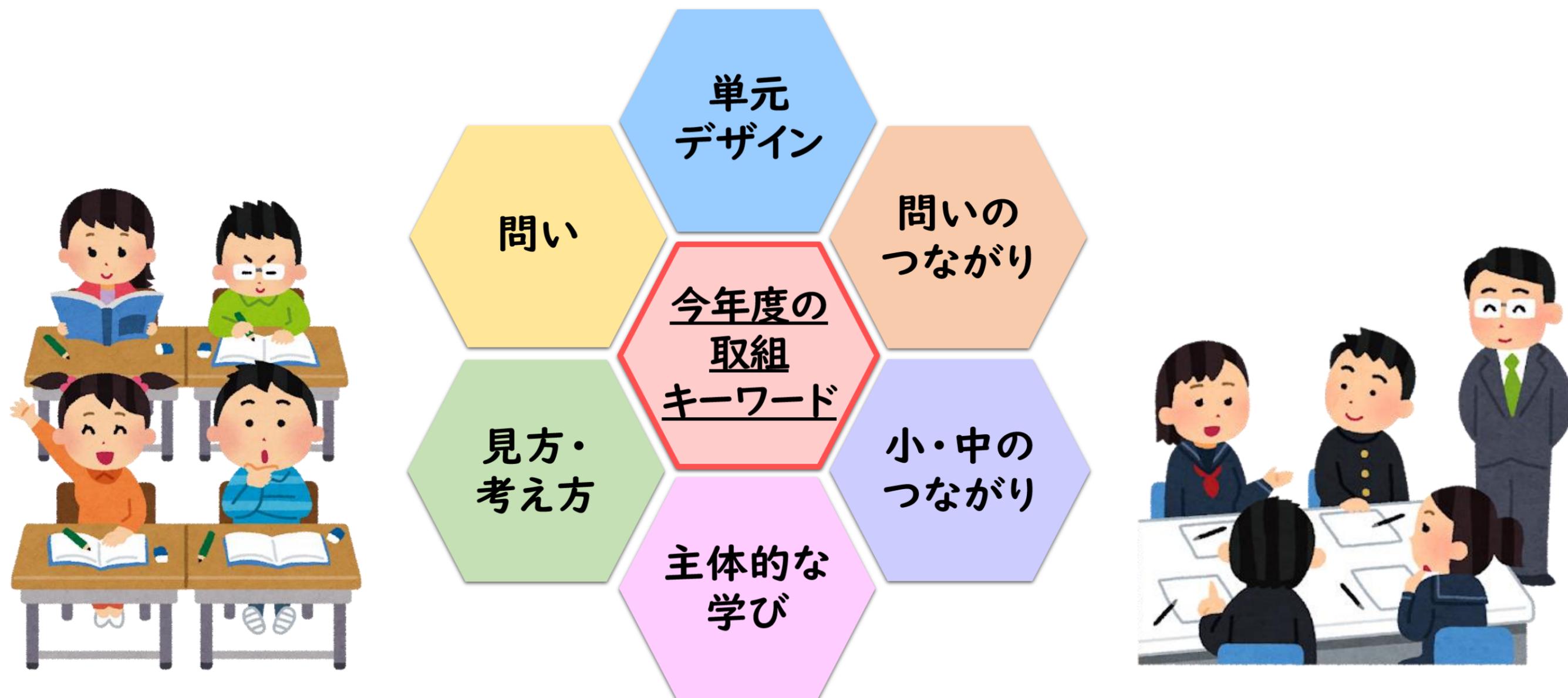


令和6年度 宇城管内学力向上ワーキング・グループ

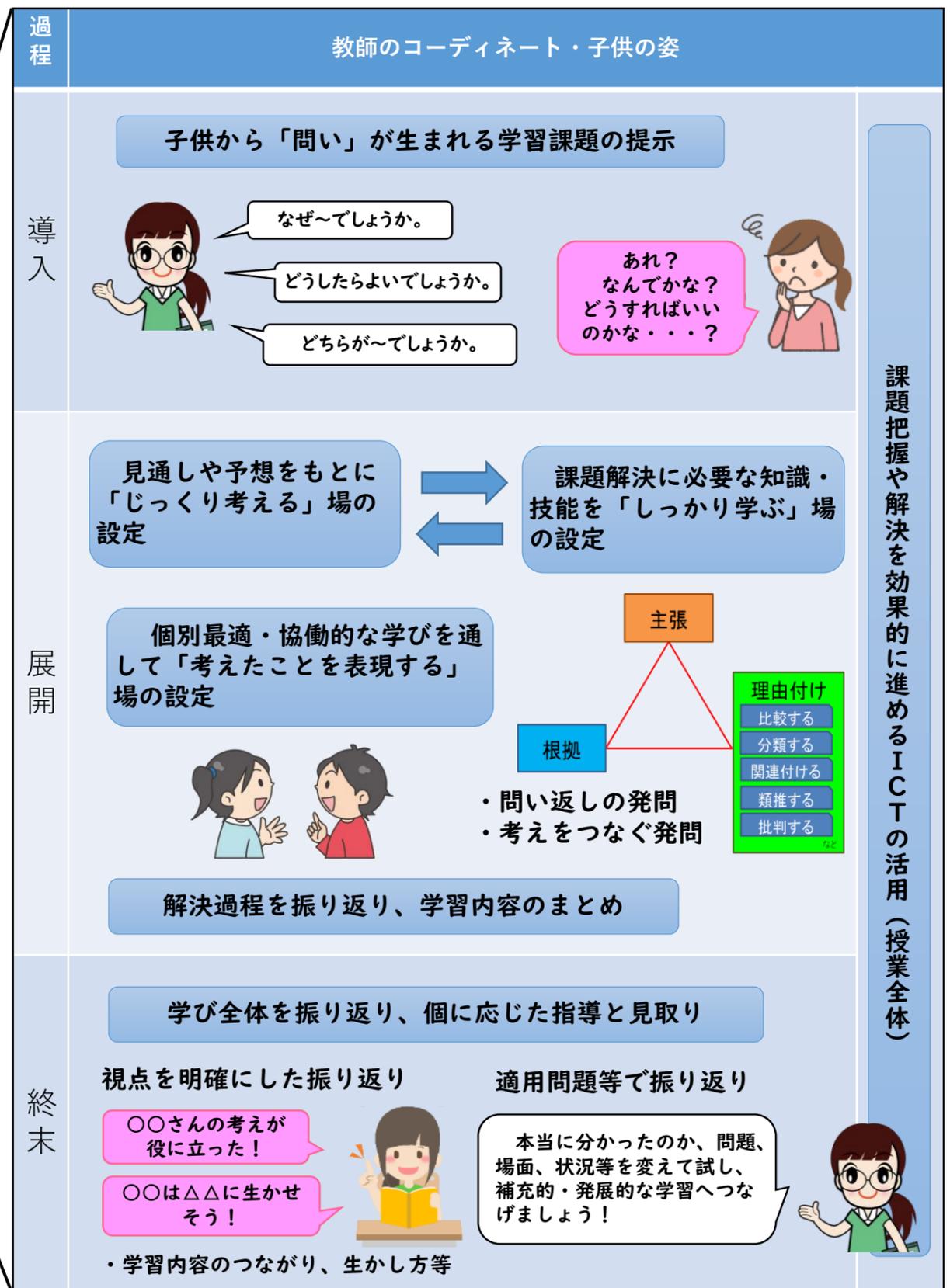
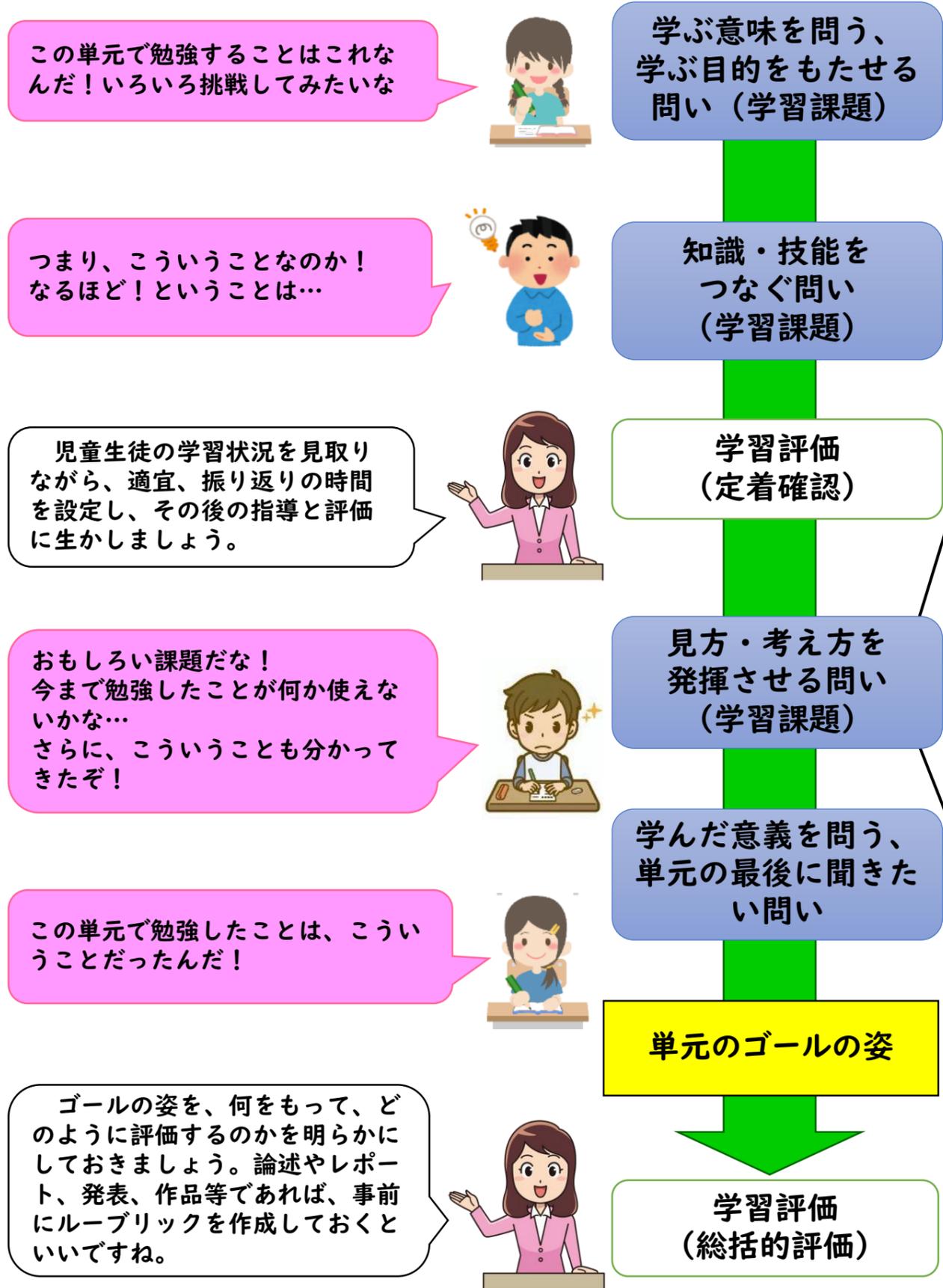
実践事例集



宇城市町教育委員会連絡協議会
宇城教育事務所

「見方・考え方」を広げ深める単元・授業デザイン (例)

【目標】 (例)
 ○○について、○○を通して (しながら)、○○することができる。
 <学習内容> <学習活動> <資質・能力>



授業とリンクした主体的な家庭学習へ

国語科

メンバー 宇土小学校 井上 万里
小川中学校 松本 奈々
中央中学校 松崎 あさみ

教科テーマ

文学的文章(物語)における問いを中心とした授業づくり

テーマ設定
の理由

- 「どうすれば『自ら考え、取り組む生徒』が増えるか」という課題の解決に向け、生徒一人一人が立てた「問い」を中心に据えた授業実践に取り組んではどうだろうか…?
- 単元デザインを活用した授業づくりにこれまで取り組んだことがない若手の先生方にも、「やってみたい!」と思ってもらえるよう授業実践を紹介できないだろうか…?

年間活動の
概要

- ① 6月 3日 単元デザインについての共通理解・教科のテーマ設定及び年間計画作成
- ② 8月 7日 研究授業事前検討会
- ③ 9月 6日 実践① 中1「星の花が降るころに」 小川中学校 松本 奈々教諭
- ④ 9月30日 実践② 中1「星の花が降るころに」 中央中学校 松崎 あさみ教諭
- ⑤ 11月12日 実践の振り返りとまとめ、今後に向けての話し合い
- ⑥ 2月10日 ポスターセッション(実践発表)

成果と課題

- 【成果】**
- 生徒が疑問に思ったこと、解決したいと思ったことを「問い」と位置付けることで、生徒の学びの主体性が上がった。特に与えられた課題ではなく「問い」を選べる安心感が、学びの自由度を加速させ、生徒が生き生きと自走しながら取り組む姿につながった。
 - 生徒が自ら「問い」を立て解決する姿が、他の文学的教材の学習にも広げられた。
- 【課題】**
- 生徒の意見をいかにカテゴライズするかは、指導者のコーディネート力が必要とされるだけでなく、深い教材研究が必要。
 - すべての単元での実施は無理があるため、学期に1本程度の、無理のない範囲での取組が有効ではないか。

中学1年国語「星の花が降るころに」 単元・授業デザイン

【主な学習内容・学習活動】

本単元で身に付けるべき力を知り、学習課題を作る。

物語の設定を確認し、大まかな内容をつかむ。

学習課題解決のために、解決したい「問い」をそれぞれ出し合う。

場面と場面、場面と描写を結び付けながら、「問い」を解決し、内容を解釈する。

- ①登場人物の心情の変化に関する問い
- ②場面や情景の変化に関する問い

見方・考え方を発揮させながら、学習課題～「私」の気持ちに寄り添って、物語の続きを書く～に取り組む。(評価)

完成した「星の花が降るころに～第二章：二度目の秋～」を班ごとに交換して読み合い、感想を交流する。(学びの振り返り)

単元末テスト(評価)
定期テスト(評価)

単元のゴールの姿

◆物語を読むときに、場面の展開や登場人物の相互関係を捉え、言葉に着目して場面の状況や心情の変化を読み、文学を深く読み味わうことができる生徒

中央中 松崎 あさみ 小川中 松本 奈々

学ぶ意味を問う、学ぶ目的をもたせる学習課題

「私」の気持ちに寄り添いながら物語の続きを書き、班の友達と交換して読み合い、それぞれの作品の感想を交流しよう。

知識・技能をつなぐ学習課題

【生徒が主体となって考えた問い】

- ◆登場人物の心情の変化に関する問い
 - ・なぜ最後に「私」は銀木犀の下をくぐったのか。
 - ・夏実と仲直りできていないのに、どうして最後に「大丈夫、きっと何とかやっつけていける」と思えたのか。
- ◆場面や情景の変化に関する問い
 - ・最初と最後が銀木犀の公園として、つながっているのはなぜか。
 - ・「半円球の宙に瞬く星みたいに光っていた」という表現にしたのはなぜか。
 - ・銀木犀は、「私」の気持ちのバロメーター(象徴)としてとらえることができないか。

見方・考え方を発揮させる学習課題

物語の伏線を回収しながら話の続きを書くには、どのような点に注目するとよいのだろう？

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

今年の秋の「星の花」が降るころ、「私」の物語はどのように続いていくのだろうか？

【目標】

場面の展開や、人物同士の関係に関わる描写に着目しながら、物語の続きを書くための材料を集めることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	
導入	1 前時を振り返り、本時の課題をつかむ	<p>めあて：登場人物の気持ちを想像して、物語の続きを考えよう</p> <p>【教師のコーディネート】 「私」の心情の変化を場面の展開に沿って確認し、冒頭と結末の「銀木犀」の描写の違いから、「私」の気持ちに寄り添って作品がどのように続いていくのかを考えさせる。</p>
	2 本時の課題の解決に向け、自分の考えをまとめる	<p>【学習課題】 物語の続きを書くには、どのような点に着目するとよいのだろう</p> <p>①誰について書くのかを考え、予想する結末を一文で表す</p> <p>私は、①の夏実との関係で続きを書きたいなあ。</p> <p>【教師のコーディネート】 ①「私」と夏実は～、②「私」と戸部くんは～、③「私」は～の3つの選択肢を用意することで、見通しを持って活動に取り組みさせる。</p>
展開	②予想した結末の根拠となるものを、本文から探す	<p>ぼくは、夏実と仲直りすると思う。なぜなら108ページに「おたがいに意地を張っていたのかもしれない」と書いてあるから、どちらとも二人で話し合いたかったのではないかなあ。それに最後の銀木犀の表現が…。</p> <p>【教師のコーディネート】 これまでに読み取った内容や、文章中の比喩や言動、描写に基づき、なぜそのように考えたのか、根拠を明らかにして書かせる。</p>
	3 考えを交流する	<p>なるほど。113ページの「半円球の～」の比喩表現は、明るい未来を暗示しているようでもあるね。それに…。</p> <p>私と夏実は、仲直りをしないまま、それぞれの道を歩むと思います。なぜなら銀木犀が二人の関係を表す象徴だと考えたからです。最初の場面で私と夏実は、銀木犀の木に閉じ込められて動けなかったけど…。</p> <p>【教師のコーディネート】 物語の続きを書くためには、人物同士の関係に関わる描写や表現に着目し、それを根拠としながら書くことよいことに気づかせる。</p>
終末	4 本時の学習での学びを生かし、作品の続きを書く	<p>交流した友達からのヒントのおかげで、更に想像が膨らんで書きやすくなったぞ！</p> <p>【教師のコーディネート】 設定を「今年の秋」とすることで、根拠を明らかにできるようにする。</p>
	5 本時の学習を振り返る	<p>私は、10年後の二人を自由に想像して書こうと思っていたけど、今年の秋の物語の続きだから、本文に書いてある表現や描写を根拠にすればよいことがわかった。次回、みんなの完成した作品を読むのが楽しみ！</p>

課題解決の手立てとして、これまでの振り返りや学習の流れを見返すことができる電子機器の活用

社会科

メンバー 小川小学校 村上 歌奈子
砥用小学校 太田 優美
不知火中学校 前田 兼吾

教科テーマ	問いをもたせ、問いをつなぐ単元デザイン～ 知りたい 調べたい! ～
テーマ設定の理由	「暗記教科?」「教科書を読むだけ?」敬遠されがちな社会科だが、教師の「少しの工夫」で、わくわくする授業ができる。社会科が好きな先生方や、苦手だと感じている先生方とも「どう問いをもたせるか」を一緒に考える機会になればと思い、本テーマを設定した。
年間活動の概要	① 6月 3日 ・ 単元デザインについての共通理解 ・ 教科の取組テーマ設定及び年間計画作成 ② 8月 7日 ・ 授業づくり ③ 10月～11月 ・ 実践(小川小学校5年生・砥用小学校5年生) ④ 11月26日 ・ 実践報告・ポスターセッションに向けた準備 ⑤ 2月10日 ・ ポスターセッション(実践発表)
成果と課題	【成果】 ○資料の選び方、出し方、出す順番を工夫すると、児童が「えっ?」「なんで?」とつぶやく。児童の主体的な学びには、教師の資料の選定・提示の工夫が大切だと改めて学んだ。 ○教師が単元のゴールを明確にもつことで、単元全体を通して子供の問いをつなぎながら、思考を途切れさせることなく、ねらいに迫ることができた。 ○小・中の教員が協力し、一緒に授業づくりに取り組むことで、互いの指導方法や実践を出し合い、教科の系統性を意識することができた。 【課題】 ●レポートや成果物の評価の妥当性については、十分な話し合いができなかった。 ●子供たちが「思考する段階」における資料の選定については、今後も検討の余地がある。 ●資料のバージョンアップが常に求められる。教材研究の時間の確保は課題である。

小学5年社会「自動車をつくる工業」 単元・授業デザイン案

小川小 村上歌奈子 砥用小 太田優美 不知火中 前田兼吾

【主な学習内容・学習活動】

○資料(諸外国の駐車場における写真)を見て、世界でも日本車がたくさん購入されていることをつかむ。
○日本製の自動車の世界的なシェアを知る。

○以下の点に着目しながら、資料等での調べ学習を行う。
★製造の工程
★工場相互の協力関係
★優れた技術
★交通網の広がりや輸送
★外国との関わり
★人々の願いと社会の動きとの関連

単元テスト

見方・考え方を発揮させる学習課題
これから、日本はどのような車をつくっていけばよいのだろう?
※調べ学習をし、スライドでプレゼンテーションする。

単元のレポート作成
(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を主に評価)
※学習したことを振り返り、自分なりに考えを整理する。

単元のゴールの姿

◆製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術、外国との関わりなどに着目し、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、理解する姿
◆消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの自動車工業の発展について、自分の考えをまとめている姿

学ぶ目的をもたせる学習課題

日本の自動車工業にたずさわる人々はどのような工夫や努力をしているのだろう。

知識・技能をつなぐ問い(概念化)

自動車づくりに関わっている人には、どんな人がいるだろう。

自動車はどのようにつくられているのだろう。

2016年の熊本地震が起きた際、なぜ遠く離れた愛知の工場での生産がストップしたのだろう。

新車が届いたけれど、走行距離はたったの2kmなのはなぜ?!完成した車は、工場からどのように運ばれてくるのだろう。

車の所有率は増えているのに、交通事故での死亡者数は減っているのはなぜ?!これまで、車はどのように開発されてきたのだろう。

定着確認

(知識・技能を主に評価)

見方・考え方を発揮させる学習課題

これから、日本はどのような車をつくっていけばよいのだろう。「私の提案●●タイムズ」を作成し、プレゼンテーションしよう。

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

日本の自動車づくりはこれから、どんなことを大切にしていけばよいのだろう。

【目標】

消費者や生産者などの立場から多角的に考えて、これからの工業の発展について自分の考えをまとめることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿																																		
導入	<p>前時からの学習課題を確認する。</p> <p>2023年 世界新車販売台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>メーカー</th> <th>販売台数(万台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>トヨタグループ</td><td>1123</td></tr> <tr><td>2</td><td>VWグループ</td><td>923</td></tr> <tr><td>3</td><td>現代自動車・起亜</td><td>730</td></tr> <tr><td>4</td><td>ステランティス</td><td>639</td></tr> <tr><td>5</td><td>GM</td><td>618</td></tr> <tr><td>6</td><td>フォード</td><td>441</td></tr> <tr><td>7</td><td>ホンダ</td><td>398</td></tr> <tr><td>8</td><td>日産</td><td>337</td></tr> <tr><td>9</td><td>スズキ</td><td>307</td></tr> <tr><td>10</td><td>BYD</td><td>302</td></tr> </tbody> </table> <p>日本経済新聞 2024/2</p> <p>【学習課題】これからの日本の自動車づくりは、どんなことを大切にしていけばよいのだろう。</p> <p>【前時までに】アンケートの結果と、会社ごとの新車販売台数(世界)を提示し、問いをもたせる。前時までに、立場を選んで調べる。</p>	順位	メーカー	販売台数(万台)	1	トヨタグループ	1123	2	VWグループ	923	3	現代自動車・起亜	730	4	ステランティス	639	5	GM	618	6	フォード	441	7	ホンダ	398	8	日産	337	9	スズキ	307	10	BYD	302	前時までの問いを提示
順位	メーカー	販売台数(万台)																																	
1	トヨタグループ	1123																																	
2	VWグループ	923																																	
3	現代自動車・起亜	730																																	
4	ステランティス	639																																	
5	GM	618																																	
6	フォード	441																																	
7	ホンダ	398																																	
8	日産	337																																	
9	スズキ	307																																	
10	BYD	302																																	
展開	<p>「私の提案●●タイムズ」(これからの日本はこんな車をつくっていくべきだ!)を互いにプレゼンテーションし、意見の交流を行う。</p> <p>【視点】 ○安全性 ○環境・エネルギー ○人への優しさ</p> <p>【私たちの提案】 人への優しさ 障害を持っている人のため 高齢者のため 子どものため ・車椅子のまま乗れる自動車 ・自動で下から足場が出る</p> <p>「私の提案●●タイムズ」のプレゼンテーション交流を通し、これからの日本の車づくりは、どのようなことを大切にしていけばよいかキーワードを出し合う。</p> <p>【これからの自動車作りに大切なこと】 《対策課題》 ・交通事故の96%は運転者に起因 ⇒ 安全性 ・不適切な車間距離や加減速により、渋滞が発生 ・トラックドライバーの約4割が50歳以上 ⇒ ネット通販に影響… ・(地方部を中心に)移動手段が減少! ⇒ バスやタクシーなどのサービス</p> <p>【子供たちから出た意見の例】 ・高齢社会へ向けた対策 ・安全性 ・働く人の数の確保 ・燃費や環境の問題 ・材料の輸入</p>	児童がスライドで発表・意見交流																																	
終末	<p>学習課題に対する自分なりの答えをまとめる。</p> <p>【これからの自動車づくり】 私は、「やさしい自動車」づくりがやっぱり大切だと思います!! 全てではなくても人や、自然、動物に負担の無い自動車だと、一気に売り上げ台数がUP↑すると思います😊 事故は無くせるものではないけれど、年々、様々な自動車会社の開発スキルは上がってきています。安全性の向上は、テレビCMでよく放送されているのを見ます。車いすでも運転できたり、乗り降りが楽な車もあります。だから、今後の自動車開発も楽しみです。 「人・自然・動物に負担0」がこれからの自動車づくりで大切なことだと思います。</p> <p>単元のまとめ 日本車作りはこれからどのようなことを大切にしていけばよいだろう。</p> <p>私は、日本の車作りに大切だと思うことは「環境にいい車」、「高齢者向けの車」が大切だと思います。なぜなら、環境にいい車は、CO2排出量がたくさん出ているからです。CO2がたくさん出すぎたら、環境破壊につながるからです。環境破壊をしないと、私達が食べる野菜などにも影響するので食べられなくなってしまうかもしれないからです。 次は「高齢者向けの車」です。今の日本は、医療が盛んになっているため、高齢者の人が増えています。高齢者の人も乗れる車があれば、誰でも乗れる車ができると思います。例えば、下から足場が出たり、ボタン一つで車の鍵が開けられたり、車椅子で乗るように坂道が車についてたりすると良いと思います。</p> <p>振り返りをする。</p>	振り返りを共有																																	

算数・数学科

メンバー
宇土小学校 岩本 亜紀子
不知火小学校 坂田 一郎
松橋中学校 仲原 徹治

教科テーマ

数学的な見方・考え方を働かせる単元デザインの工夫
～ 小1と中3の授業実践を通して ～

テーマ設定
の理由

- 数学的な見方・考え方を働かせる単元デザインの在り方を検証授業を通して明確にし、児童・生徒の学ぶ力を高める授業づくりに生かすため。
- 同じ領域で共通する見方・考え方とは何か、見方・考え方を系統的に鍛えるとともに、鍛えられた見方・考え方を働かせる学びの在り方とは何かを明らかにするため。

年間活動の
概要

- ① 6月 3日 ・ 単元デザインについての共通理解
・ 教科の取組テーマ設定及び年間計画作成
- ② 8月 2日 ・ 研究授業事前検討会
- ③ 9月 9日 ・ 研究授業 中3「3章 二次方程式」 松橋中学校 仲原 徹治 教諭
- ④ 11月22日 ・ 研究授業 小1「たしざん」 宇土小学校 岩本 亜紀子 教諭
- ⑤ 2月10日 ・ ポスターセッション(実践発表)

成果と課題

- 【成果】**
- 単元デザインで見方・考え方を働かせる問いを具体的にイメージできた。
 - 単元を通して身に付ける力、見方・考え方が高まっていくことを改めて実感した。
- 【課題】**
- 本単元や本時の授業だけでなく、これまでの積み重ね(既習事項の定着)が重要であることを実感する一方で、積み重ねができていないことへの対応が困難な状況もある。

中学3年数学「二次方程式」単元・授業デザイン

松橋中 仲原 徹治

【主な学習内容・学習活動（15時間）】

【単元の導入】
 ・開催日を求めるには？
 二次方程式の存在を知る（1時間）
 ・二次方程式とその解の意味（1時間）

学ぶ意味を問う、学ぶ目的をもたせる問い

二次の項をふくむ方程式（二次方程式）は、
 これまでの方程式とどんなところが違うのか？

【平方根の考えを使った解き方】
 ・平方根の考えで解く（1時間）
 ・平方完成を使って解く（1時間）

知識・技能をつなぐ問い

二次方程式はどうやって解くとよいだろうか？

平方根の考え方を使うと解ける。

【解の公式を使った解き方】
 ・解の公式を導く（1時間）
 ・解の公式を使って解く（1時間）

解の公式を使うと解ける。

因数分解すると解ける。

【因数分解を使った解き方】
 ・因数分解の復習と
 解き方の確認（1時間）
 ・因数分解を使って解く（1時間）
 ・やや複雑な二次方程式を
 因数分解を使って解く（1時間）

二次方程式には三つの解き方があるが
 どの解き方を選べばよいのだろうか？

見方・考え方を発揮させる問い

【計算問題】
 次の二次方程式について、解き方を自分で選び、
 その解き方を選んだ理由を答えなさい。

- (1) $(x + 3)^2 = 16$
- (2) $x^2 - 2x - 3 = 0$
- (3) $2x^2 + 3x + 1 = 0$
- (4) $2x^2 + 4x - 6 = 0$
- (5) $x^2 + 12x + 12 = 0$
- (6) $4x^2 + 4x + 1 = 0$
- (7) $3x^2 - 27 = 0$

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い
 方程式のよさとは何だろうか。

【解き方まとめ】
 ・自分なりの根拠をもって解き方を選び
 その理由を説明する（1時間）【本時】

前期期末テスト

【二次方程式の利用】
 ・通路の幅を求める問題（1時間）
 ・二つの整数を求める問題（1時間）
 ・容積の問題（1時間）
 ・動点の問題（1時間）

単元テスト

単元のゴールの姿

- ◆ 二次方程式の三つの解き方について理解し、計算問題を手際よく計算する姿。
- ◆ 二次方程式の解き方を選んだ根拠を明らかにして説明しようとする姿。
- ◆ 具体的な場面の中で、求めたい数量に着目して、等しい数量関係を見つけ、方程式をつくり、それを解くことで、問題を解決しようとする姿。
- ◆ 「方程式のよさ」を感じ、その生かし方等について自分なりの考えを述べる姿。

【目標】（10/15時間扱い）※本時は40分授業で実施
 二次方程式について、自分なりの根拠をもって解き方を選び、
 それを表現することができる。【思考・判断・表現】

過程	教師のコーディネート・子供の姿
導入	<p>○二次方程式の三つの解き方について復習する。</p> <p>(1) $x^2 + 6x = 1$ ※平方根の考えを使って解く (2) $3x^2 + 5x + 1 = 0$ ※解の公式を使って解く (3) $x^2 - 5x + 6 = 0$ ※因数分解を使って解く</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <p>【めあて】 二次方程式の解き方を、自分なりの根拠をもとに選ぶことができる。</p> <p>☆標準コースであり、三つの解き方が定着していない生徒も多いため、簡単な問題で復習し、具体的にイメージをもたせる。</p>
展開	<p>今から提示する二次方程式について、まず、式だけを見て、三つの解き方の中から、一つ選びます。解く必要はありません。なぜ、その解き方を選んだのか。班の人と選んだ理由を共有してください。</p> <p>☆本時では、二次方程式が実際に解けるかどうかまではこだわらない。</p> <p>式の見ただ目で、解き方を選び、なぜそう考えたかを共有することで、解き方を選ぶそれぞれの根拠をより深いものとしていく。</p> <p>【生徒から引き出したい根拠となるキーワード】 平方根の考えを使った解き方を選ぶ場合 ・$(x+p)^2=q$の形だから ・xの係数が偶数で平方完成できそうな形だから 解の公式をつかった解き方を選ぶ場合 ・左辺が因数分解できそうにないから ・x^2に係数がついているから ・式が一般形だから 因数分解をつかった解き方を選ぶ場合 ・左辺が因数分解できそうだから</p> <p>三つの解き方のうちどれで解こうかなあ？</p>
終末	<p>○“二次方程式の解き方を選ぶこと”について考え、意見交流を行う。</p> <p>なるべく簡単な解き方を選べるようになりたいな！</p> <p>同じ問題でも、手間がかかる解き方と簡単にできる解き方があるんだね</p> <p>「二次方程式の解き方を選ぶこと」についてのまとめ ・どの解き方でも答えは同じになるが 同じ問題でも手間がかかる解き方と手間がかからない解き方がある ・式の見ただ目で、より手間のかからない解き方を選べるとよい</p>

小学1年算数「たしざん」 単元・授業デザイン

宇土小 岩本 亜紀子

【主な学習内容・学習活動（10時間）】

①9+4のけいさん（1時間）
1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考える。

①9+4のけいさん（1時間）
1位数どうしの繰り上がりのある加法計算（加数分解）を理解する。

①9+4のけいさん（1時間）
被加数が8や7の場合の計算の仕方を考える。

①9+4のけいさん（1時間）
1位数どうしの繰り上がりのある加法計算（加数分解）の理解を確実にする。

②3+9のけいさん（1時間）
1位数どうしの繰り上がりのある加法計算（被加数分解）を理解する。

②3+9のけいさん（1時間）
1位数どうしの繰り上がりのある加法計算（被加数分解）の方法を伝え合い、理解を確実にする。

③かあどれんしゅう（3時間）
加法の計算能力を伸ばす。

④まとめ・たしかめよう（1時間）

【振り返りの視点】
わ かったこと
か んばったこと
と もだちから学んだこと
も っと知りたいこと・学びたいこと

学ぶ意味を問う、学ぶ目的をもたせる問い

岩本先生が持っているどんぐりの数は、全部で何こになるだろうか？

知識・技能をつなぐ問い

10のまとまりがないとき、どうやって計算するのだろうか？（既習の加法計算や「10といくつ」という見方を基にする）

定着確認

（総括的評価：知識・技能）

知識・技能をつなぐ問い

後ろの数が大きいとき、どうやって計算するのだろうか？（加数分解の加法計算や「10といくつ」という見方を基にする）

見方・考え方を発揮させる問い

式や図、ブロックなどを関連付けながら考え、根拠を明らかにして説明する力を発揮させるために

- さくらんぼ計算をブロックで説明しましょう。
- 図でいうとどの部分になりますか？
- これまでの考えと似ているところはどこですか？

定着確認

（総括的評価：知識・技能）

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

岩本先生が持っているどんぐりの数は全部で何こになるかを教えよう。

単元のゴールの姿

- ◆ 1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、その計算ができる児童
- ◆ 計算の仕方を式や操作、図を用いて関連付けながら考え、根拠を明らかにして説明しようとする児童

【目標】 加数、被加数の大きさに関係なく、10のまとまりをつくることに着目して、ブロックの操作や図などを使って説明することを通して、計算することができる。（5/10時間）

過程	教師のコーディネート・子供の姿
導入	<p>1 本時の問題をつかむ。</p> <p>いわ見せんせいは 3こ、いわ本先生は 9こ たまごを もってきました。たまごは、あわせて なんこですか。</p> <p>既習事項とのズレ 式は3+9です。</p> <p>前の式とちがうところがあるな。</p> <p>？ 後ろの数が大きいから、どう計算すればいいかな？</p> <p>（めあて）うしろのかずが大きいときのけいさんのしかたをかんがえよう。</p> <p>どんな式になりますか？</p>
展開	<p>2 問題解決に向けて活動する。</p> <p>①自分で考える。 ・ さくらんぼ計算で考える ・ ノートに図をかいて考える</p> <p>②全体で考える。 ※9を分ける考え方については、前時までの解き方と同じなので先に触れ、3を分ける考え方について全体で考えていく。 ※ブロックの操作、さくらんぼ図、図を関連付けながら考えを出し合わせる。</p> <p>あみ 9はあと1で10だから…。</p> <p>2と10で12になります。</p> <p>かずをわけて、10をつくっています。</p> <p>あみさんの考えの続きが言える人？</p> <p>二つの考えで似ているところはどこですか？</p> <p>3 本時をまとめる。</p> <p>（まとめ）どちらかをわけて10のまとまりをつくとけいさんできる。</p>
終末	<p>4 適用問題を解き、本時の学習を振り返る。</p> <p>①適用問題を解く。 ※宇土市学力調査の問題を活用して、被加数分解の加法計算の仕方について問う適用問題を作成。</p> <p>②学習カレンダーに今日の振り返りを書く。</p> <p>5+9のけいさんのしかた 9はあと1で10になります。 10をつくるために、5を4と□にわけます。</p> <p>9に□をたすと、10になります。 この10とこの□をたすと、5+9のこたえになります。</p> <p>うしろのかずをわけてもけいさんすることができた。</p> <p>じぶんのしやすいほうほうで、いろいろなもんだいをといてみたい。</p>

理科

メンバー

豊福小学校 増田 直樹
鶴城中学校 小篠 怜央
砥用中学校 波田地 貴志

教科テーマ

小・中学校のつながりを意識した単元を通した学習課題の設定

テーマ設定の理由

取り組む題材を決めるに当たり、小中学校の題材を確認したところ、小学6年生と中学3年生の両方で水溶液を見分ける題材があることが分かった。様々な場面で小中学校の接続が大切といわれる中で、学習においても小中の内容の連続性を意識して単元デザインをすることで、それぞれの校種が付けるべき力が明確となり、学力向上につながると考え、テーマ設定を行った。

年間活動の概要

- ① 6月 3日 ・単元デザインについての共通理解
・年間計画及び取組テーマの協議
- ② 8月20日 ・テーマと取組内容等に関する協議
- ③ 9月30日 ・各自で作成した単元デザインを持ち寄り協議
- ④ 11月25日 ・取組状況の確認、ポスターセッションに向けて
- ⑤ 2月10日 ・ポスターセッション(実践発表)

成果と課題

【成果】

- 単元デザインを作成したことで、生徒の主体的な学びを持続できた。
- 小中学校それぞれが付けるべき力を意識できた。
- 学習内容や思考ツールについて、既習事項を生かし、スムーズに学習できた。

【課題】

- 互いの校種の学び方について知る機会がもっと必要だと感じた。
- やり方やツールを合わせるだけに止まらず、子供の発達段階を踏まえて工夫する必要がある。

中学3年理科「化学変化と電池」 単元・授業デザイン

砥用中 波田地貴志

【主な学習内容・学習活動】

単元導入
「ダニエル電池をつくってみよう。」(1h)
・ダニエル電池を制作し、気づきや考えをまとめる。

「イオンへのなりやすさ」(3h)
・金属樹を観察し、なぜ金属が発生したかを考察する。
・複数の金属と水溶液との反応を観察し、金属の種類によってイオンになりやすさがあることを理解する。
・金属が生じたり、イオンに変化したりするしくみを理解する。

「ダニエル電池のしくみ」(1h)
・ダニエル電池の電極でおこっている化学変化を考察し、電池のしくみを理解する。

単元テスト 評価：知・思

活用問題と単元の振り返り
・与えられた条件で、電子オルゴールをならせるだけの電池を作成する。
・単元の学習の成果と課題を振り返る。

単元のゴールの姿

電池のしくみをイオンと関連付けて理解し、その他の電池のしくみやよりよい性能の電池を考えようとする生徒

学ぶ意味を問う、学ぶ目的をもたせる問い

電池はどのように電気をうみ出しているのだろうか？

概念
知—知

知識・技能をつなぐ問い

金属を水溶液に入れたときの反応を確かめよう。

金属の種類や水溶液の種類を変えたとき反応の違いはあるのだろうか？

見方・考え方を発揮させる問い
(質的・実体的な視点で関係付ける)

金属を水溶液に入れたとき、どのような化学変化がおきているのだろうか？

ダニエル電池の電極ではどのような化学変化がおきているのだろうか？

定着確認

(総括的評価：知技・思判表)

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

無人島で電池を使って生きのびよう
～与えられた材料で電子オルゴールをならせる電池をつくろう～

【目標】

既習事項を生かしながら、与えられた材料で電子オルゴールをならすための電池を考えることができる(2時間扱い)

過程	教師のコーディネート・子供の姿	課題把握や解決を効果的に進めるICTの活用
導入	<p>1 本時の課題を理解する 与えられた材料で電子オルゴールをならせる電池をつくろう</p> <p>皆さんがもっている材料で電池をつくるにはどうしたらいいだろう？</p> <p>2種類の金属と水溶液で電池はできたよ。どう組み立てよう？</p>	<p>▽授業全体△</p>
展開	<p>2 課題解決に取り組む</p> <p>(1) 予想をする</p> <p>金属はどの順番に並べたらいいかな？</p> <p>水溶液のしみこんでいる紙を金属の間にしたらどうか？</p> <p>(2) グループごとに電池をつくる</p> <p>電流は発生するけどオルゴールはならないな</p> <p>+極や-極は関係あるのかな</p> <p>電流を大きくするには直列につないだらいいのでは？</p> <p>自由な対話の中で、試行錯誤を繰り返しながら学びを深めるために活動時間を確保する</p> <p>(3) 電池のつくり方を共有する。</p>	<p>ヒントカード等の手立ての準備</p>
終末	<p>3 まとめと振り返りをする</p> <p>(1) 電池のつくり方をまとめる。</p> <p>銅、食塩水を湿らせたろ紙、アルミニウムの順に並べたものを一つの電池として考え、それを直列につなぐとよい</p> <p>(2) 振り返りシートに振り返りを記入する</p> <p>・これまでの電池のしくみを改めて使い、理解が深まったり、よく分かってなかった部分があった。</p> <p>今日の取組、学習の進捗、次回の学習で取り組みたいことの三つの視点で振り返る。</p>	<p>▽授業全体△</p>

中学3年理科「化学変化とイオン」 単元・授業デザイン

鶴城中 小篠 怜央

【主な学習内容・学習活動】

水溶液に何が溶けているかを、既習事項をもとに実験によって確かめる。

A いろいろな水溶液に電流が流れるかを調べる。

実験結果を表にまとめる

B 金属の種類によって、イオンへのなりやすさに差があるかを調べる。

実験結果を表にまとめる

C 酸性・中性・アルカリ性の水溶液の性質を調べる。

水溶液の性質を表にまとめる

学習内容A・B・Cを活用し、水溶液Xの正体を実験によって確かめる。

単元のゴールの姿

- ◆ これまでに習得した知識・技能を活用し、水溶液や溶質の性質の違いから、水溶液に何が溶けているのかを確かめる実験の方法や手順を考える姿
- ◆ 実験の結果を分析・解釈し、調べた水溶液に溶けている物質が何だったのかを考えてまとめ、自分の考えを整理し、他者に分かるように伝える姿

学ぶ意味を問う、学ぶ目的をもたせる問い

水溶液の正体は何だろうか。
※水溶液の種類：アンモニア水、石灰水、食塩水、塩酸、炭酸水

どのような水溶液に電流は流れるのだろうか。

見方・考え方を発揮させる問い

実験結果をどのようにまとめると分かりやすいだろうか

定着確認
(総括的評価：知識・技能)

金属によってイオンのなりやすさに差があるのだろうか

実験結果をどのようにまとめると分かりやすいだろうか

定着確認
(総括的評価：知識・技能)

酸性やアルカリ性の水溶液には、それぞれどのような性質があるのだろうか。

水溶液の性質をどのようにまとめると分かりやすいだろうか。

定着確認
(総括的評価：知識・技能)

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

水溶液の正体は何だろうか。

【目標】 酸・アルカリとイオンに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

過程	教師のコーディネート・子供の姿
導入	<p>【復習】 水溶液の性質の違いについて振り返る。 ○色 ○におい ○加熱した時の変化 ○リトマス紙の変化 ○BTB液の変化 ○電圧を加えた時の変化 ○マグネシウム片を入れた時の変化 ※水溶液の種類 エタノール水溶液、食塩水、砂糖水、うすい塩酸、水酸化ナトリウム水溶液、硫酸亜鉛水溶液、硫酸マグネシウム水溶液</p> <p>【課題】 「試験管に入っている水溶液の正体は何だろうか」</p>
展開	<p>【予想】 水溶液の正体を確かめる方法を、フローチャートで表しながら考える。</p> <p>【実験】 フローチャートが完成した班から実験を開始する。</p> <p>【結果・考察】 結果をプリントにまとめ、水溶液の正体を考察する。考察が終わったら、教師から答えを聞く。 ※答えが異なっていた場合、何が原因かを考え、再実験を行う。 ※水溶液の正体を早く当てることができた班は、2本目の試験管に入っている水溶液の正体を当てる。</p>
終末	<p>【まとめ】 水溶液の正体は、硫酸亜鉛水溶液である。</p> <p>【振り返り】 学んだことや感想を書く。</p>

小学6年理科「水溶液の性質」単元・授業デザイン

豊福小 増田 直樹

【主な学習内容・学習活動】11時間取扱い

「食塩水」「炭酸水」「アンモニア水」「塩酸」「石灰水」を見た目やにおい、蒸発後の差異点や共通点を基に問題を見だし、課題をもつ。

第一次 水溶液に溶けているもの
1-1 炭酸水に溶けている物をいろいろな方法で調べる。
1-2 二酸化炭素を水に溶かして炭酸水をつくってみる。

第2次 酸性・中性・アルカリ性の水溶液
2-1 5つの水溶液を付けたときのリトマス紙の変化を比べながら調べる。
2-2 何性がいろいろなもので調べる。

評価①：知・技・態

第3次 金属を溶かす水溶液
3-1 塩酸の働きをいろいろな方法で調べる。
3-2 液体から取り出した物の性質をいろいろな方法で調べる。
3-3 「確かめよう」「学んだことを生かそう」をする。

評価①：思・判・表

単元の振り返りと活用問題（評価）
・水溶液の性質や働きについてまとめ、振り返る。
・多面的に調べた結果をまとめた表、考えたことを表した図や絵、文、学習内容と生活経験を関連付けた気づき等をまとめ、共有化→単元の振り返り

単元末問題（テスト）

学ぶ目的をもたせる学習課題

身の回りにおけるいろいろな水溶液を正確に区別できるように、性質や働きを調べよう。
<主体性を高める単元を通した学習課題>

見方・考え方を発揮させる学習課題
水に溶けている物に着目して、水溶液の違いを多面的に調べる
主な見方：質的・実体的
主な考え方：多角的に考える

知識・技能をつなぐ問い

見た目だけでは不確かだね。
炭酸水には何が溶けているのかな？

他に分かりやすく区別する方法はないのかな？
酸性、中性、アルカリ性って何かな？

定着確認（総括的評価：主に知識・理解を評価）

金属（アルミニウム）の弁当箱に強い酸性の水溶液を入れてはいけない。なぜだろう？

塩酸に溶けたアルミニウムはどうなったの？

定着確認（主に思考・判断・表現を評価）

学んだ意義を問う、単元の最後に聞きたい問い

学んだことを生かして、水溶液を区別してみよう。教科書 P.123
<粘り強さ><学習の調整>

私の水溶液コレクション

単元のゴールの姿

- ◆水に溶けている物に着目して水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けている姿。
- ◆水に溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだしたり、表現したりする姿。
- ◆学んだことをこれからの自分の生活に生かそうとする姿。

【目標】（本時11/11時間目）

水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】
これまで学習した水溶液の性質や働きを生かし、より妥当な考えをつくりだし、五つの水溶液を区別している。
【思考力、判断力、表現力等】

過程	教師のコーディネート・子供の姿
導入	<p>これまで何を勉強してきたかな？</p> <p>いろいろな「区別するスキル」があったなあ。</p> <p>リトマス紙を使うと酸性と中性とアルカリ性に分けられたね。</p> <p>水よう液にはどんな性質やはたらきがあったかな？</p> <p>強い酸性の水よう液には、金属をとかして別のものに変えるはたらきもあったね。</p> <p>1 学習課題を立てる。 水よう液の性質やはたらきを使って、五つの水よう液を区別してみよう。</p>
展開	<p>2 課題解決に取り組む。</p> <p>(1) 一人で「区別スキル」を使って区別する。（樹形図）</p> <p>これまで得てきた「区別するスキル」 □見た目 □におい □蒸発 □石灰水 □線香（火） □リトマス紙 □金属（アルミニウム） □電気を通す など</p> <p>これまで学習してきた「区別するスキル」を使って区別してみよう。</p> <p>より正確に、より効率よく区別するには、どんなスキルを使って、どんな順番で実験すればいいか考えよう。</p> <p>これまで学習してきた「区別するスキル」が役立ちそうだぞ。</p> <p>どんなスキルを使って、どんな順番で実験すると正確に区別できるかな？回数少ない方がよさそうだぞ。</p> <p>(2) 考えを発表し合い、より正確に区別する方法をグループで話し合う。 (3) 正確に区別できているか、より妥当な区別方法などについて全体で交流する。</p> <p>リトマス紙を使うと、一度により早く区別することができるね。</p> <p>水よう液の性質やはたらきを知っておくことが大切だね。</p>
終末	<p>3 まとめをする。</p> <p>水よう液の性質や働きをもとにした「区別スキル」を使うと、水よう液をより正確に区別することができた。</p> <p>4 振り返りを単元シートに記入する。</p> <p>前は区別できなかったけど、区別できるようになった。勉強してよかったなあ。</p> <p>水よう液っていろんな性質やはたらきがあることが分かってよかった。</p> <p>子供が自分の成長を感じ、今後への意欲を高められるように「前と比べて」「友達の見聞を聞いて」「これから」の三つの視点から振り返らせる。</p>

外国語活動・英語

メンバー 不知火小学校 馬場 郁子
当尾小学校 水野 今日子
小川中学校 森島 千晴

教科テーマ	英語が好き・分かる児童生徒を育成する授業づくり ～ 自分の思いや考えをいきいきと伝え合う活動を通して ～
テーマ設定の理由	○ゼロからの挑戦を単元の中に数回入れ、また、マッピングを活用することで、技能の習得に加え、思考を高めることができるのではないか。 ○言語活動→中間評価→言語活動という学習を通して、学び方にも着目し、自己選択することで、児童生徒を主体にした学びになるのではないか。
年間活動の概要	① 6月 3日 ・ 単元デザインについての共通理解 ・ 教科の取組テーマ設定及び年間計画作成 ② 8月 7日 ・ 研究授業事前検討会 ③ 9月26日 ・ 研究授業事前検討会 ④ 11月29日 ・ 研究授業 小6「Unit6 Save the animals」 当尾小学校 水野 今日子教諭 ⑤ 2月10日 ・ ポスターセッション(実践発表)
成果と課題	【成果】 ○児童生徒が自ら学びを振り返り、課題を意識して学習に取り組むことができた。 ○振り返りの視点により、相手意識が高まった学習活動となった。 【課題】 ●中間評価において、振り返る視点(内容面と技術面)の設定に課題が残った。 ●自己選択における学習活動の際、自分の学びが的確に把握できていない児童生徒への手立てをどうするか。

小学6年外国語「Unit6 Save the animals.」 単元・授業デザイン

当尾小 水野 今日子

学ぶ目的と場面の共有・言語面での気付き

環境にやさしい暮らしをするために、生き物が直面する問題についてポスターセッションで伝え合おう。
Hello.
Let's save the sea turtles.
Sea turtles live in the sea.
Sea turtles sometimes eat plastic.
Plastic is a big problem.
We can reuse plastic bags.
Thank you.

ホームページでも紹介

言語面の振り返り・内容面での気付き

相手に伝わる英語や話し方で紹介することができますか。

自分の紹介は、本当に生き物が抱える問題を伝えられるものになっていますか。

内容面の振り返り

問題の原因や自分にできることなどを付け加えて、より詳しく紹介できるようにしよう。

言語面の振り返り・内容面の振り返り

自分の話したいことは本当に友達に伝わっていますか。

生き物が抱える問題について相手に理解してもらえていますか。

定着確認（総括的評価）

相手に伝えるために、どんなことを意識することが大切だったでしょう。

【主な学習内容・学習活動】

・単元のゴールを知る。
・自分が調べた生き物を伝え合う。

・生き物が住んでいる場所を伝え合う。

・生き物が抱えている問題について伝え合う。

・調べた生き物紹介の練習をし、内容を見直す。(中間評価)

・より良い紹介になるように内容を見直して練習する。
・ALTに紹介をする。
評価①【知技】

・ポスターを作る。
・ポスターを見せながら紹介する練習をする。

生き物についての発表会
評価②【知技・思判表・態度】

・調べた生き物について紹介する姿。(ポスターセッション)
・振り返りシートへの記入
・単元テスト(スピーキング)

単元のゴールの姿

- ◆ 生き物が暮らす場所や直面する問題、生き物のためにできることについて、「Let's save the ~. / ~ live in ... / ~ is a big problem. / We can ~.」を使って紹介している姿。
- ◆ 生き物のことが友達によく伝わるように、話す内容や話し方を工夫しながら話している姿。

【目標】(本時4/8)

調べた生き物について友達に知ってもらうために、内容を選択して練習する活動を通して、生き物が住んでいる場所や直面する問題について伝えることができる。

過程	教師のコーディネート・子供の姿	教師の例 発表資料
導入	<p>1 Small Talk Let's save the sea turtles. Sea turtles live in the sea ...</p> <p>2 ペアで伝え合う。 「～に住んでいます。」は何と云えばよかったかな・・・ 「... live in ~.」が使えると思うよ。</p> <p>3 ペアでの会話を振り返る。 自分の言いたいことは友達に伝わりましたか。どうすればよりよく伝えられるでしょう。</p> <p>Point 1 メモを見てスラスラ言えているか。 → 間の取り方、強調、伝わる速さ、正しい発音 Point 2 資料を適切に活用しながら話することができるか。 Point 3 相手の反応を見ながら話しているか。 → 「OK?」「Do you know?」</p> <p>4 本時のめあてを確認する。 自分の紹介をレベルアップさせよう!</p>	
展開	<p>5 方法を選んで練習する。 ① 教師と練習 ② 一人で練習 ③ 友達と練習 三つのポイントを意識して練習できていますか。途中で練習の方法を変えてみるのもいいですね。</p> <p>6 三つのポイントに照らして中間評価を行う。</p> <p>7 最初のペアでもう一度伝え合う。(タブレットで動画撮影) Hello. Let's save the sea turtles. Sea turtles live in the sea. Plastic is a big problem. Thank you.</p> <p>評価【知識・技能】動画 ※記録に残さない。</p>	
終末	<p>8 本当にその生き物の問題が伝わる内容になっているかを考えさせ、次時につなげる。 海がめはプラスチックでどんな被害に遭っているのだろう。 国語の学習では、自分達にできることを考えたね。</p> <p>9 本時の学習を振り返る。 友達と一緒に英語で何と云えば良いかを考えて練習したら言えるようになりました。 タブレットで何回も練習したのでスラスラと言えるようになりました。 次は、絶滅危惧種の問題の具体例を伝えてみたいです。</p> <p>どんな練習をして、どんなことができたようになりましたか。</p>	教師の例 振り返り タブレットでの

技能面での気付き
振り返り
内容面での気付き
振り返り

令和6年度

宇城管内学力向上ワーキング・グループ

国語

宇土市立宇土小学校	井上 万里 教諭
宇城市立小川中学校	松本 奈々 教諭
美里町立中央中学校	松崎 あさみ 教諭

社会

宇城市立小川小学校	村上 歌奈子 教諭
美里町立砥用小学校	太田 優美 教諭
宇城市立不知火中学校	前田 兼吾 教諭

算数・数学

宇土市立宇土小学校	岩本 亜紀子 教諭
宇城市立不知火小学校	坂田 一郎 教諭
宇城市立松橋中学校	仲原 徹治 教諭

理科

宇城市立豊福小学校	増田 直樹 教諭
宇土市立鶴城中学校	小篠 怜央 教諭
美里町立砥用中学校	波田地 貴志 教諭

外国語・英語

宇城市立不知火小学校	馬場 郁子 教諭
宇城市立当尾小学校	水野 今日子 教諭
宇城市立小川中学校	森島 千晴 教諭

宇城市町教育委員会連絡協議会

会長 宇土市教育長	野尻 絹子 太田 耕幸 前田 一孝 (R6.10.1より)
宇城市教育長 美里町教育長 事務局	平岡 和徳 宮崎 幸仁 亀井 千鶴 (宇城市教育委員会指導主事) 上田 美保

宇城教育事務所

所長 主幹 (指導課長)	竹下 英希 廣瀬 友治
指導主事	原武 聡子 (国語)
指導主事	鋤崎 良二 (社会)
指導主事	浅井 重光 (算数・数学)
指導主事	三村 優子 (理科)
指導主事	若山 竜介 (外国語・英語)

宇城管内学力向上ワーキング・グループ 実践事例集

令和7年3月発行

発行者 宇城市町教育委員会連絡協議会
宇城教育事務所